

2016年度（2017年3月期）
第1四半期 決算説明会

2016年8月10日

1. 実績・見通しのポイント
2. 第1四半期 連結業績

1.実績・見通しのポイント

2016年度 損益 – 第1四半期 –

(億円)	14年度Q1 (a)	15年度Q1 (b)	16年度Q1 (c)	増減		
				対14年度 (c-a)	対15年度 (c-b)	
売上高	642	706	594	△47	△112	
売上総利益	226	261	227	+1	△33	
販売管理費	198	216	218	+20	+2	
営業利益	28	44	8	△19	△35	
%	4.4%	6.3%	1.5%	△2.9p	△4.8p	
経常利益	23	51	1	△22	△50	
%	3.7%	7.3%	0.2%	△3.5p	△7.1p	
税前利益	23	51	1	△22	△50	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	9	37	△12	△22	△49	
%	1.5%	5.3%	△2.1%	△3.6p	△7.4p	
換算 レート	USD	102.1	121.4	108.0	+5.8	△13.3
	EUR	140.0	134.2	121.9	△18.1	△12.3

- ◆ 為替環境
- ◆ インバウンド需要の変調
- ◆ 日本市場 株価低迷
- ◆ ウオッチムーブメント市況の悪化
- ◆ その他
 - ・ 前期 大判プリンタ事業撤退
 - ・ オフィス移転

◆ 為替環境：

短期的) 原価・経費削減 / 価格対応

長期的) コスト構造見直し / 投資計画の見直し

◆ インバウンド需要の変調：

日本人向け販売の継続強化

◆ 日本市場 株価低迷：

既存高級品流通の継続強化

◆ ウォッチムーブメント市況の悪化：

原価低減 / 新製品の開発

◆ その他：

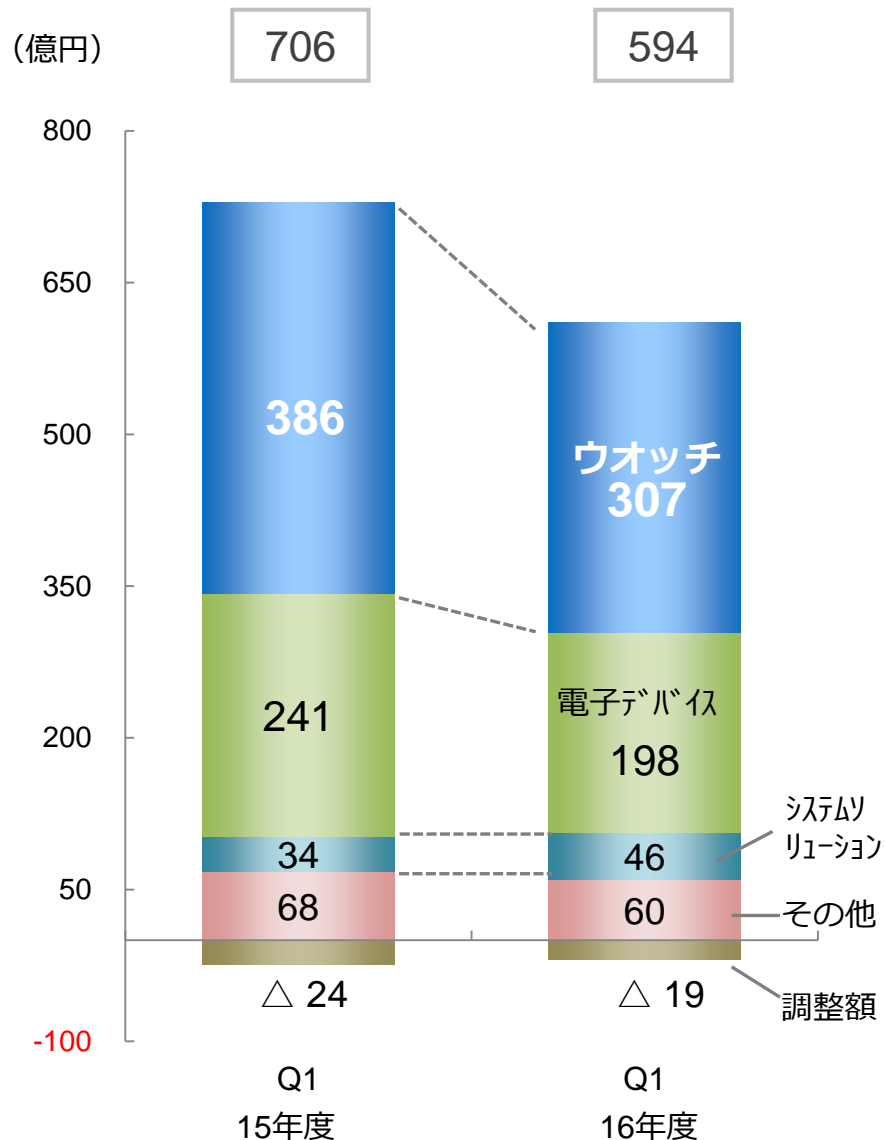
すべての経費の見直し / 新製品の前倒し投入 /

不採算事業の見直し

2.第1四半期 連結業績

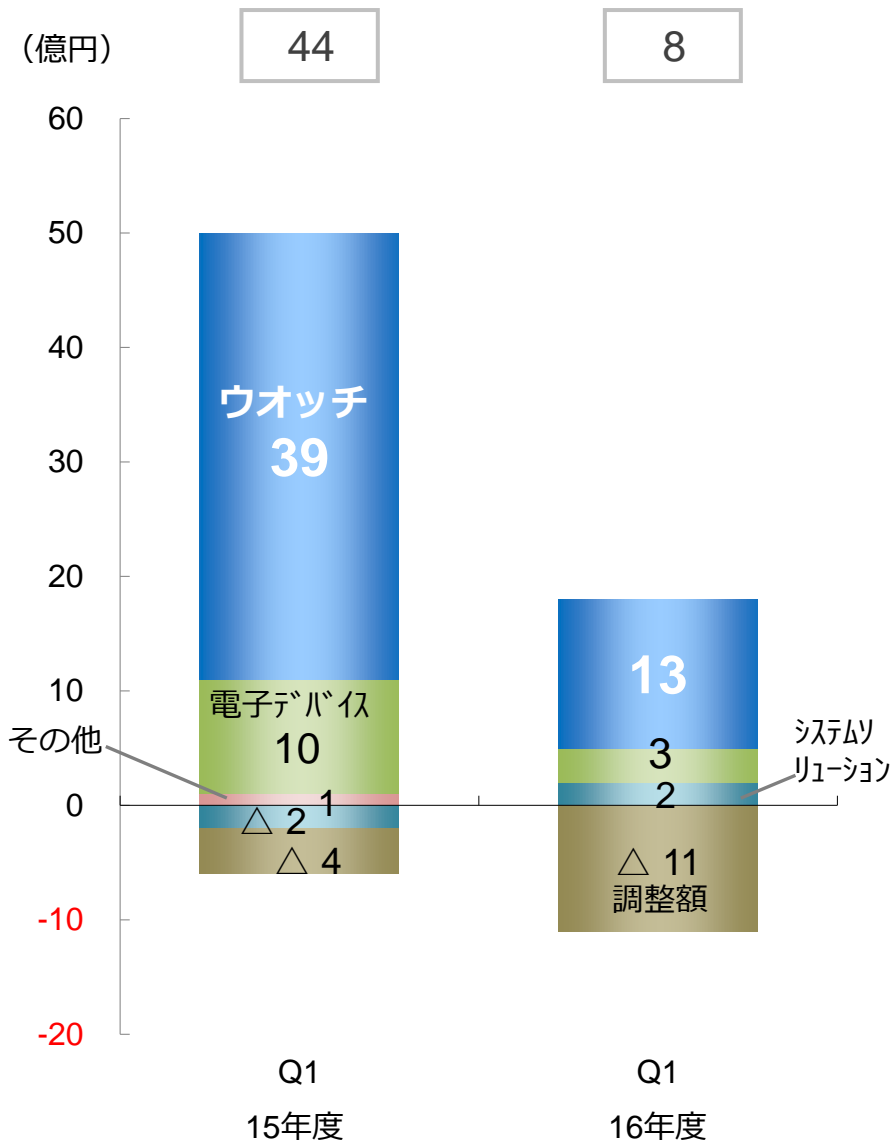
(億円)		15年度 Q1	16年度 Q1	増減		
				増減額	増減比	
売上高		706	594	△112	△15.9%	→ 売上高： 対前年 △112 為替による影響 約△38億
売上総利益		261	227	△33	△12.9%	
営業利益		44	8	△35	△80.2%	→ 営業利益： 対前年 △35 売上総利益減少 △33 経費増加 △2
%		6.3%	1.5%	△4.8p	–	
経常利益		51	1	△50	△97.3%	→ 経常利益： 対前年 △50 営業利益減少 △35 為替差損益悪化 △13 持分法投資損益悪化 △2 受取配当金減少 △1
%		7.3%	0.2%	△7.1p	–	
税前利益		51	1	△50	△97.3%	
親会社株主に帰属 する四半期純利益		37	△12	△49	△134.0%	
%		5.3%	△2.1%	△7.4p	–	
換算 レート	USD	121.4	108.0	△13.3	△11.0%	
	EUR	134.2	121.9	△12.3	△9.2%	

事業別売上高 – 第1四半期（4月-6月） –



(億円)	売上高		
	15年度 Q1	16年度 Q1	増減
ウオッチ事業	386	307	△79
電子デバイス事業	241	198	△43
システムソリューション事業	34	46	+11
計	663	552	△110
その他	68	60	△7
調整額	△24	△19	+5
連結計	706	594	△112

事業別営業利益 – 第1四半期（4月-6月） –

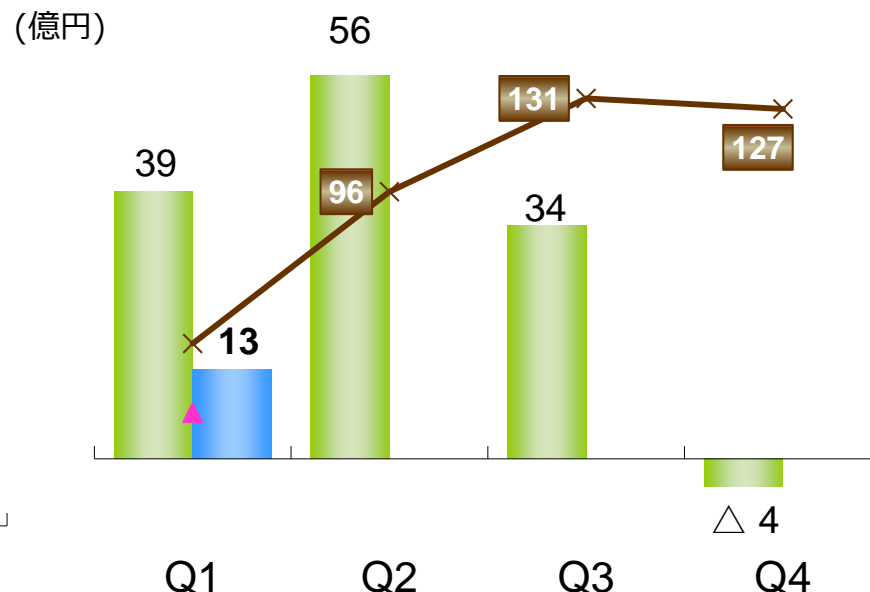
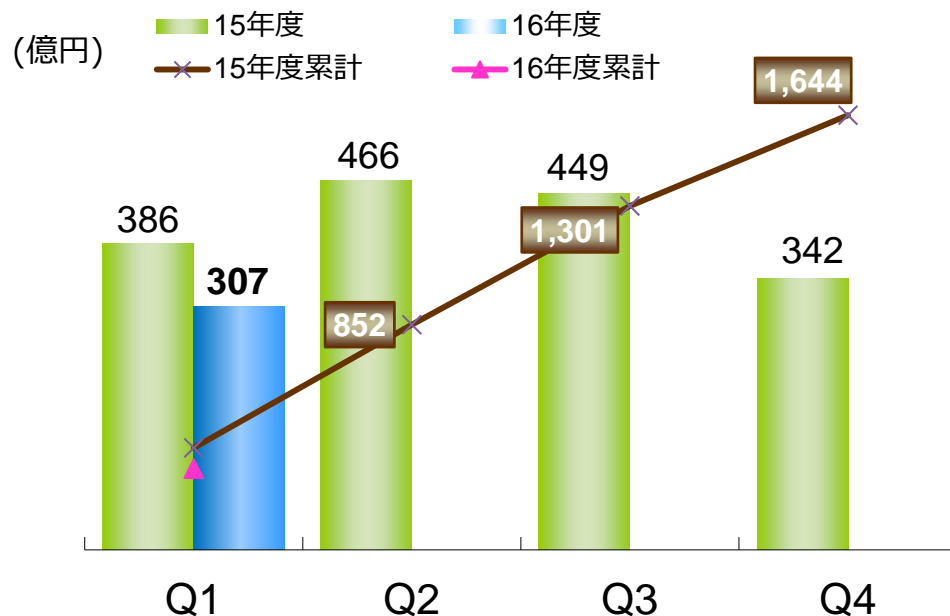


(億円)	営業利益		
	15年度 Q1	16年度 Q1	増減
ウォッチ事業	39	13	△26
電子デバイス事業	10	3	△7
システムソリューション事業	△2	2	+4
計	47	20	△27
その他	1	△0	△1
調整額	△4	△11	△7
連結計	44	8	△36

セグメント情報

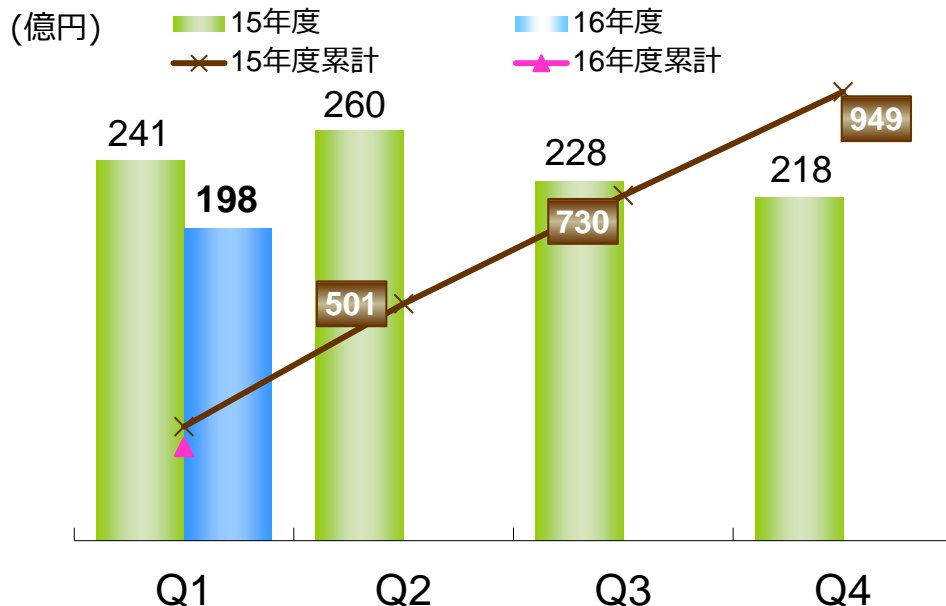
売上高

営業利益

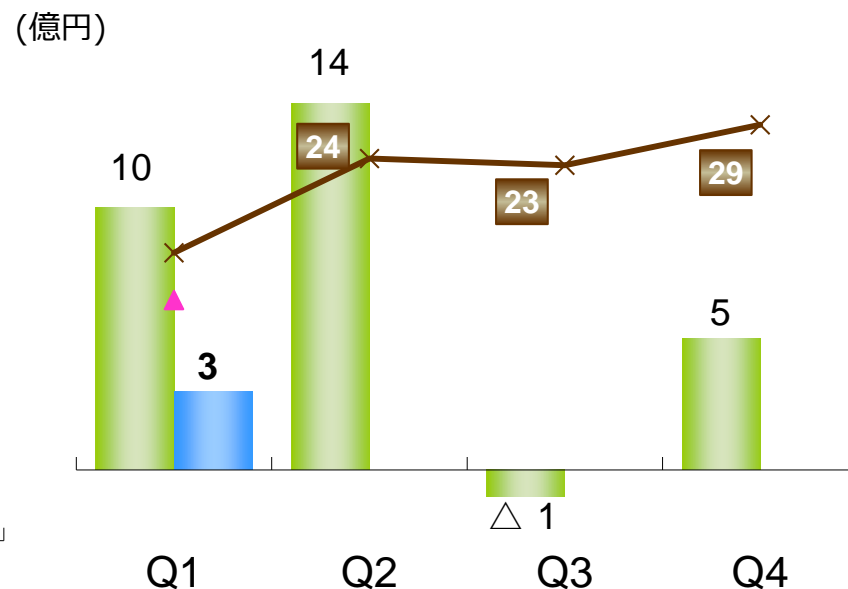


- ・ 完成品ウオッチ：「ルキア」や「アストロン」、「プレザージュ」は順調に推移したが、（国内）「グランドセイコー」など高額品は株価低迷の影響などにより伸び悩んだ。流通別ではインバウンド需要の変調により量販店向けの売上が前年同期を大きく下回った。
- ・ 完成品ウオッチ：現地通貨ベースでは概ね前年同期並みの売上だったが、円高の影響で円貨ベースの売上高は減少。
- ・ ムーブメント：取扱商品縮小の影響のほか、米国・中国の時計市場低迷により悪化。

売上高

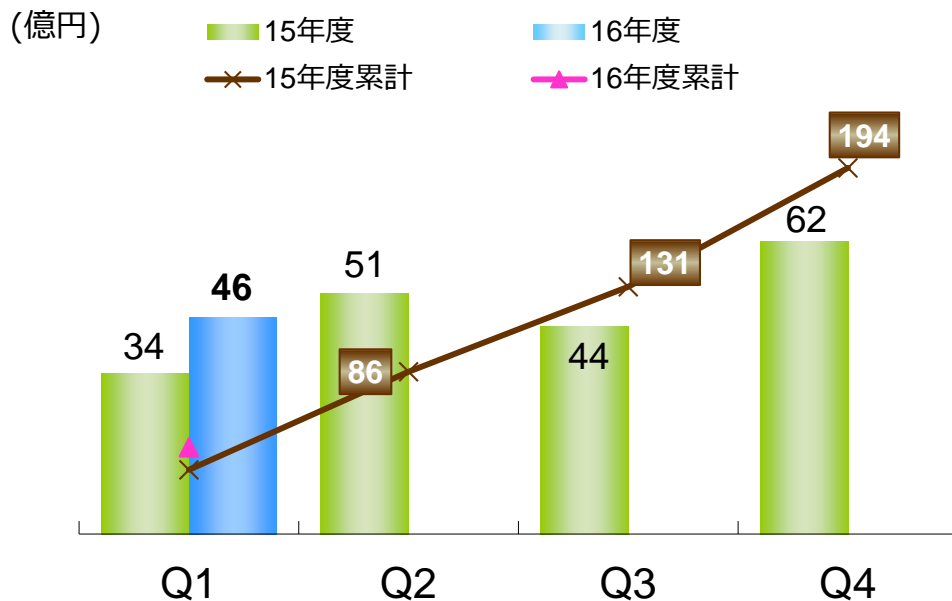


営業利益

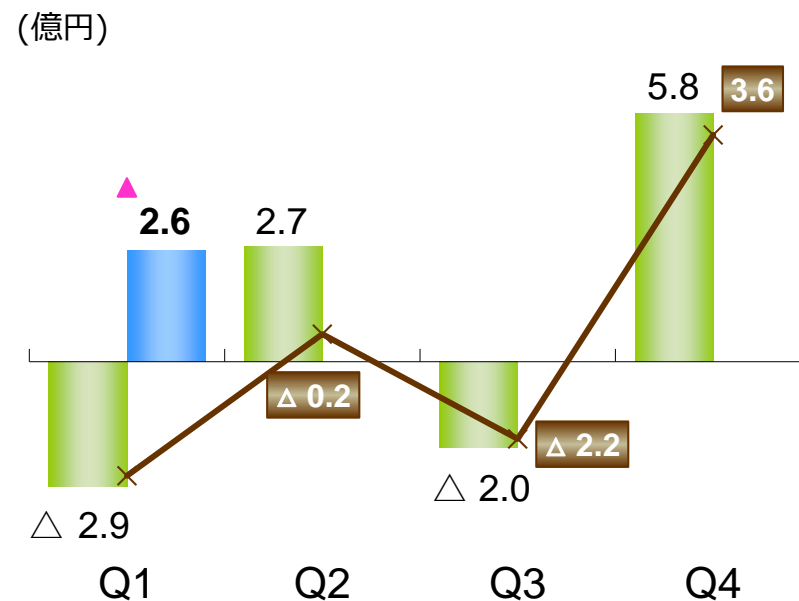


- ・電子デバイス : 半導体は車載向けやスマートフォン向け製品等を中心に、数量ベースでは堅調に推移したものの、円高の影響で前年同期からは売上を大きく落とした。
- ・メカトロニクス : ハードディスクコンポーネントは堅調だが、カメラ関連が完成品の低迷により前年同期を下回った。
- ・その他 : 大判プリンタ事業の事業譲渡により売上は減少。

売上高

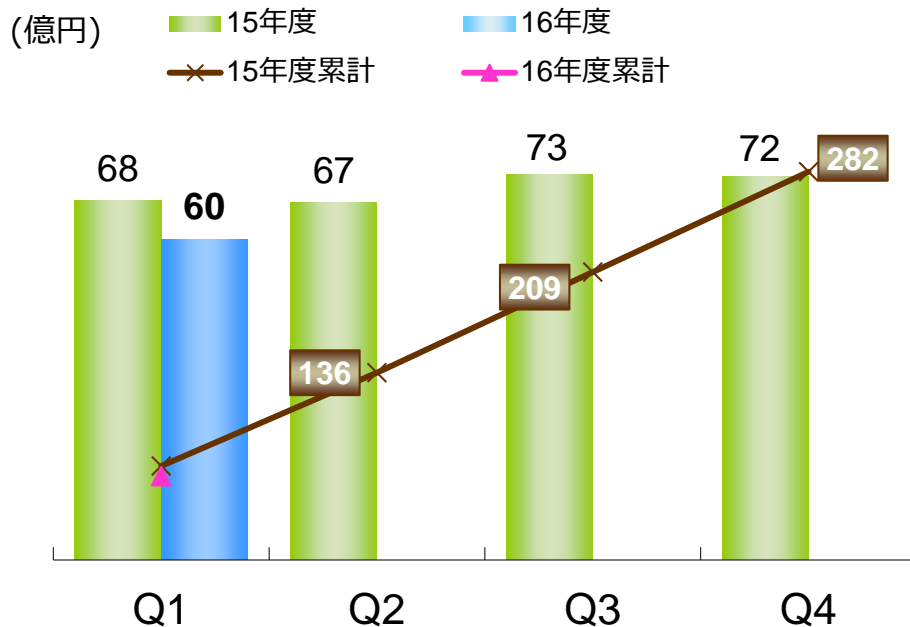


営業利益

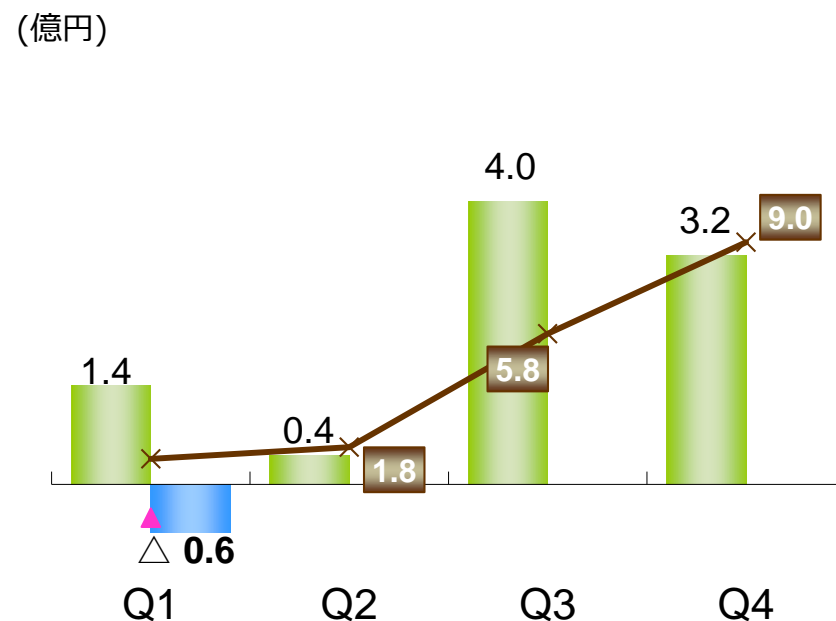


決済端末などのデータサービス事業やホームセキュリティ向けのモバイルソリューション事業などが好調に推移し、売上、利益とも前年同期より大幅に改善。

売上高



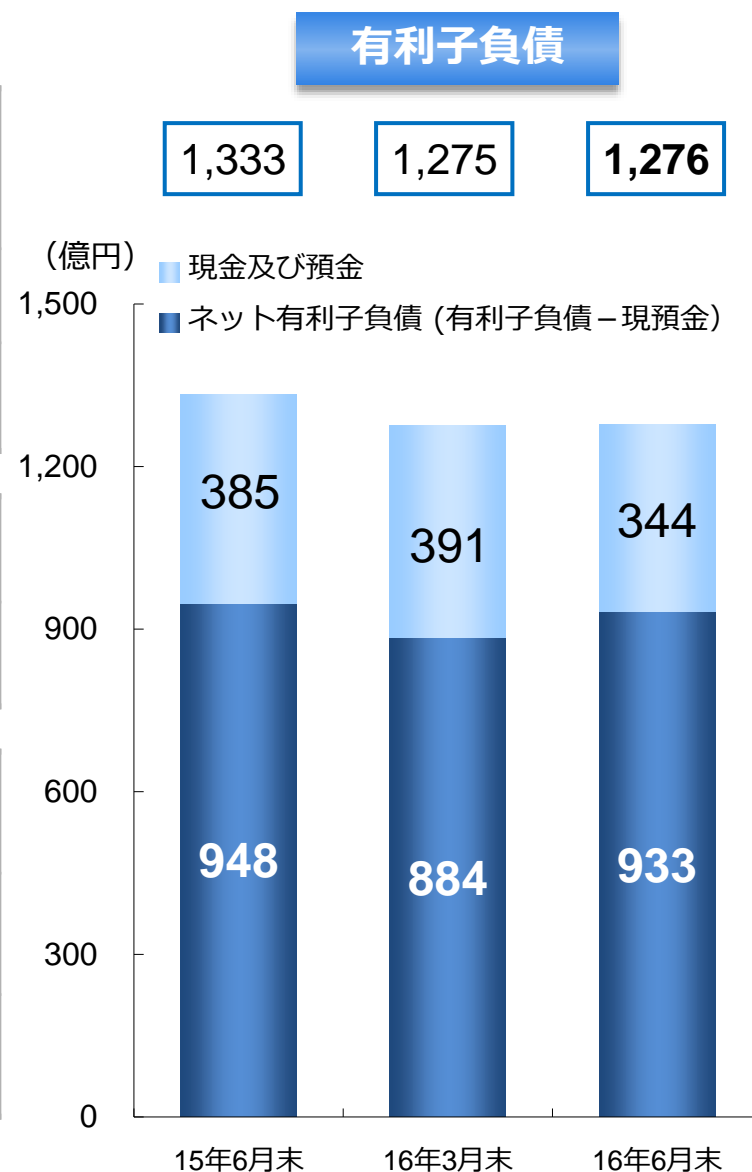
営業利益

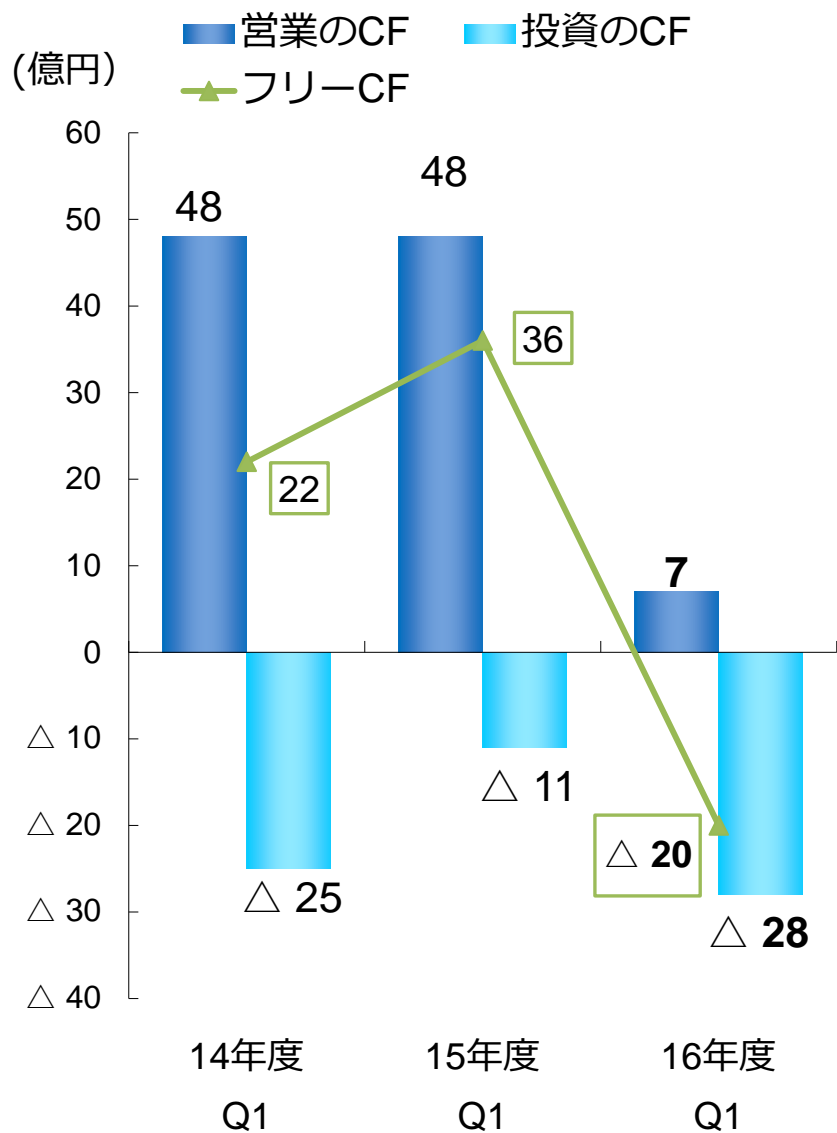


- ・ クロック : 海外向売上の月ずれにより、全体も前年同期を下回った。
- ・ その他 : インバウンド需要の変調により、和光事業の売上が減少。

2016年6月末 貸借対照表

(億円)	2015年 6月末	2016年 3月末 (a)	2016年 6月末 (b)	増減 (b) - (a)
棚卸資産	694	651	692	+40
有利子負債	1,333	1,275	1,276	+1
純資産	960	1,026	939	△87
総資産	3,314	3,291	3,164	△126
自己資本比率	28.4%	28.7%	27.0%	△1.7p
ネットD/E レシオ	0.9	0.8	0.9	+0.1
従業員数	13,789	13,437	13,555	+118





	14年度 Q1	15年度 Q1	16年度 Q1
税引前当期純利益	23	51	1
減価償却費	26	23	25
その他	△1	△26	△19
営業のキャッシュフロー	48	48	7
有形固定資産の取得	△16	△17	△31
その他	△9	5	3
投資のキャッシュフロー	△25	△11	△28
借入金の借入・返済収支	△23	△39	8
その他	△12	△23	△17
財務のキャッシュフロー	△36	△62	△8
換算差額等	△0	4	△17
現金及び現金同等物	411	381	341
フリーキャッシュフロー	22	36	△20

(億円)

End

※ 本資料では特に注意書きがない場合、表示単位未満の端数は切り捨てにより表示しております。